

フクシマ事故原因究明もないのに――

泊原発 再稼働 とんでももない

日本共産党



道に対して申し入れ＝左から菊地、青山、島山、真下、古岡の各氏

1・2号機

なんて

ストレステスト 審査・合否基準が不明確
道民合意なく、なぜ再稼働を急ぐのか

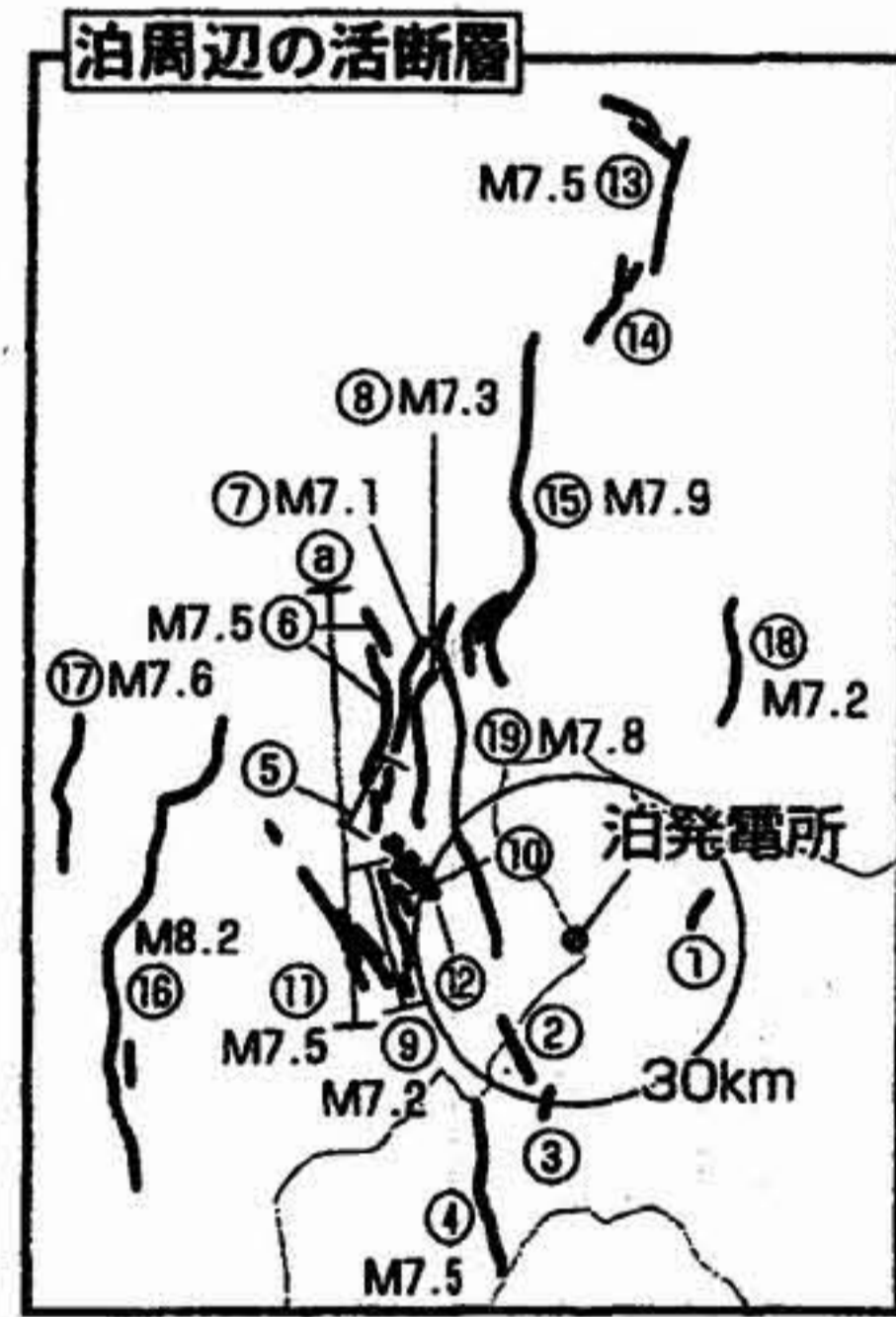
いま北電と政府は、泊1・2号機の再稼働をめざしています。東電は想定を超える津波で原子炉が破壊された、といいますが政府検証委員会報告は、現場の状況を把握できないので判断できない、と原因究明ができていません。野田首相は「事

故の究明がすべてのスタートの大前提」と答弁。徹底した究明ぬきに再稼働は論外です。ストレステストでは安全保証はない

新潟県の泉田知事は「事故究明たりない」、福井県西川知事は「事故ふまえた安全基準で審査すべき」とのべています。机上のストレステストでは安全保証は全くできないのです。

今は地震動乱期 活断層で地層たわむ 積丹 西海

21世紀は地震大動乱期です。巨大地震による原発配管等のキレツは危険です。泊原発沖は活断層が沢山あります(地図)。



積丹沖には60〜70kmの未確認活断層がある、と専門家は指摘しています。M7.8の地震もありえます。何が海岸隆起をおこしたのか、北電は説明していません。リスクをともに受けとめないのでは、安全保証はできません。

積丹沖には60〜70kmの未確認活断層がある、と専門家は指摘しています。M7.8の地震もありえます。何が海岸隆起をおこしたのか、北電は説明していません。リスクをともに受けとめないのでは、安全保証はできません。

30キロ圏防災計画と体制ないのに

国は30キロ圏の防災計画策定をいい始めました。しかし後志の9町村が十

分とりくめるような状況にはありません。計画だけでなく、避難訓練など防災体制の確立が欠かせません。

札幌・小樽も防災計画を札幌市も小樽市も防災計画入り求めており、国と道は受け入れるべきです。

はたやま委員長 真下道議が申し入れ

日本共産党道委員会を代表して、はたやま和也政策委員長と真下紀子道議らは1月20日、多田副知事に対して、①泊1・2号機の再稼働を認めないこと、②やらせ問題の徹底解明を行なうこと、③自然エネルギー

の爆発的導入をはかること、などを申し入れました。道は再稼働について「何よりも安全優先。慎重に判断を」と、答えました。はたやまさんは「何よりも道民の安全を守ることが第1です」と語っています。

原発ゼロの日本・北海道こそ



2012年2月号外
 発行所/ほっかい新報社 〒080-0808 札幌市北区北6条7丁目
 電話(011)728-4858 (昭和40年8月10日第三種郵便物認可)
 日本共産党北海道委員会の見解を紹介します。

ご意見をお寄せ下さい。日本共産党北海道委員会 電話(011)746-1151 FAX(011)716-5024